

ハシ女

祝 南砺市二十歳の集い

おめでとうございます



卯年を迎えて

南山見地域づくり協議会 会長 碓井好彦

明けましておめでとうございます。
皆さまには、ご家族おそろいで新春をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

型を変えながら進化していくコロナの影響を受けつつも、
本協議会は計画していた各種事業のできるものはやり方を工夫
しながら進めてきました。中でも、誰もが困っている庭木の枝
葉処理について、市の助成をいただいで枝粉砕機を購入し、必
要とする人がいつでも使えるように除雪機車庫内に配置したこ
とと、空き家対策講演会やひきこもり等支援モデル事業勉強会
を開催したことが、地域課題解決に向けた新たな取組みとなり
ました。

地域づくり協議会設立からの二期四年を振り返ってみます
と、設立前の各種イベント的行事等を継承しつつ軌道に乗せよ
うと努めたのが一期。それに加えて、イノシシ対策や庭木処
理、空き家対策等の地域課題解決に力を入れ始めたのが二期
だったように思います。

特に最近では、南砺市や地域づくり井波連合会との連携協力が
一層重要になってきております。例えば、「なんバス」の見直
しに向けてデマンドバス実証実験が井波地域で再度行われる予
定であること、現在、井波モビリティ協議会による無料月金
バスの実証実験が行われていること等は、地区の公共交通空白
地帯解決につながる大きなチャンスであると考えます。その
他、第二次南砺市公共施設再編計画では、令和七年までに「維
持しない」とされた施設が井波地域に九施設あり、その中に井
波市民センターもあります。このことは、旧井波庁舎問題に大
きく関連しており、令和七年までに井波市民センターがどこに
移転されるのか、旧庁舎建物は解体するのか等、私たちの地区
にとっても人ごとではありません。皆さまには、南山見地区は
もちろん井波地域の動き等にも目を向けていただき、さらなる
ご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、今年「癸卯（みずのと）」で、「癸（みずのと）」と
「卯（う）」の意味を合わせ考えると「これまでの努力が花咲
き、実り始める」縁起のよい年だそうです。明るい未来への大
きな飛躍・花開く繁栄の年になることを願うものです。



「挑戦」



須河 宥 太
(平成23年生)

今年がうさぎ年だとわかった時に、理由もなく「よっしゃー」と気持ちが高ぶりました。しかし、迎えた新年初日はけがをしていて、さらに病氣もしていたので、よい年明けとはなりませんでした。初詣に行き、迷うことなく、うさぎの絵が描かれた「心身健全守」を選びました。

今年一番の目標は、けがを治して速く走れるように努力することです。しばらく運動ができなかったため、南山見の地域をグルッと走りたいと思います。心も身体も健康で、いろいろなことに挑戦する一年にしたいです。

今年の目標



岩崎 千早
(平成23年生)

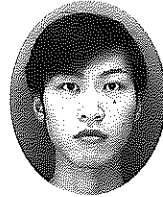
私は、今年頑張りたいことが、二つあります。

一つ目は、エレクトーンです。エレクトーンは、保育園の頃から習っています。もうすぐ発表会で「フィンランディア」という曲をグループで弾くので、皆で合わせて弾けるよう頑張りたいです。

二つ目は、学校の勉強です。六年生になると勉強が難しくなると思います。

す。私は、算数が苦手なので、克服できよう取り組みたいです。小学校生活も残りわずかなので、明るく、元気に思い出を作りたいたいと思います。

新年に向けて



山田 太一
(平成11年生)

昨年度は、コロナ禍ではありましたが、移動の多少の緩和により、外出や遠出をすることが多くなったように思えます。また、地元の方に戻ってきたこともあり、家族や友人と接する時間や、話をする機会が増えました。このような時間は自分の心に良いものを与えてくれるものであると再確認することができました。もちろん、コロナウイルスの終息にはまだほど遠いため、自分や家族のためにも今まで通り感染予防は徹底しつつ、バランスをもって行動していきたいと思っています。

卯年の新年を迎えて



前川 翔
(平成11年生)

高校を卒業してから六年が過ぎ、一年一年が早く過ぎていくように感じています。

高校の頃は野球部に所属しており、三年間野球のことだけを考え、必死に取り組んできました。辛いことも楽し

いことも仲間と共有して、楽しい三年間を過ごすことができました。社会人になった今、コロナウイルス等ネガティブなニュースが多い世の中で、今までの日常が大きく変化し不安に思う日々が多くなったような気がします。ですが、その中でも日々家族や友人と過ごせる当たり前の小さな幸せに、沢山気づくことができるようになり、毎日毎日を当たり前だと思わず、常に新しいことにチャレンジする年にしていきたいと思っています。

卯年の新年を迎えて



澤田 みゆき
(昭和62年生)

今年、人生三度目の「年女」を迎えました。そして、今年四月から、いよいよ長女が小学校へ入学するという大きな節目の年でもあります。本当にあつという間で、歳月が経つのはとても早かつたなあという印象です。相変わらずコロナは収束しそうななく、マスクの放せない生活が続き、何かと不自由な世の中ですが、今年も家族みんなで健康に気をつけながら、楽しく、元気に過ごしていけたらいいなと思っています。

家族と一緒に



石田 朋 絵
(昭和62年生)

三回目の卯年を迎えます。二回目の卯年、二十四歳の頃の私は、三十六歳になる私が結婚して子供も三人産み、すっかりと鬼ババとなつてる姿を想像もしていなかったでしょうね。

コロナが流行り始めて三年となります。行きたい場所に行ける、会いたい人に会える、やりたいことができる、そんな当たり前のことができない一年になればいいと願っています。次の年女になる頃は、上の子は高校卒業？ちよつと想像もつきませんが、そんな未来を楽しみに仕事も家族との時間も大事にしたいと思っています。

小さな幸せ探し



前川 祐子
(昭和50年生)

年女を迎えこれまでを振り返ると、子供達と南山見の自然の中で過ごした思い出が、いくつも浮かびます。春はつくしを見つけ、秋にはトンボを追いかけ、雪がどつさり積もれば、お父さんとかまくら作りに励みます。そして皆のお氣が入りは山菜採りです。年に一度ですが、お母さんに教わりゼンマイを探ります。木々の間をすり抜け、山の斜面を歩きゼンマイを見つけると、小さな探険にも感じられ子供もたくましく見えます。

成長するにつれ、習い事や部活動等忙しく、また私自身、慌ただしく毎日過ごしていますが、これからも子供達と自然の恵みを感じ小さな幸せを見つめられるよう過ごしたいです。

まだまだ波乱が続きそうなの



岩田 実
(昭和50年生)

ふと二〇二二年を思い返すと、新型コロナやウクライナ戦争、大幅な円安や物価高騰など、多くの国民が翻弄された一年であり、これらの脅威は今なお続いています。

個人的には、一人暮らしから実家に戻り、同業他社に移ったりと環境が大きく変わりました。

『新年を迎えて』ということですが、仕事や地域の行事など、当然やるべき事はありますが、年男だからと特に目標や抱負があるわけはありません。ありきたりですが、人に優しく接するとか、感謝を忘れないとかそれぐらいです。

まだまだ社会の一員、地域の一員として出来ることは少ないかも知れませんが、寒い日が続きますが、コロナや戦争が早く終結し、少しでも平和で暮らしやすい世の中になることを願います。

南山見とのかかわり



前川 将
(昭和38年生)

最初に南山見を意識したのは、井波小学校南山見教場の最後の入学生だったことです。

一学期のみの登校でしたが、強烈に覚えていました。まだ道も舗装されていなく、近所の上級生と一緒に集団登校していました。今思えばよくあの距離を歩いて行っていたなと思います。高校卒業後は二十一年近く家を離れていたのですが、帰ってきたから、南山見の会合に出席したときなんとなく知ってる人ばかりだなあと感じました。但し、目上の人だけですが。その時地域とのかかわりを深く感じました。今後とも地域の皆様に助けをいただきながら生きていきたいと思っています。

「趣味」



谷田 好美
(昭和38年生)

今年は何女であり、人生の大きな節目

目でもある還暦を迎えます。年齢とともに好奇心も芽生え五十代後半から「花の寄せ植え」に興味を持ち、花に関する講座やイベントに出掛け、いろいろな人と出会ったり学んだり、楽しく日々を過ごしている今日この頃です。花と接することで心が癒され元気をもらっています。

これからは多くの花と人との出会いを通じて、健康で充実した人生を送りたいと改めて思っています。

月日のたつのは



亀田 美和子
(昭和26年生)

気がつけばもう七回目の年女！月日のたつのは早いもので改めて年を感じている今日この頃です。

コロナ禍になり始めた三年前に長年勤めていた会社を退職し、サーア！これから余裕を持っていろいろとして行こうと思っていた所に、思いがけない状況になりとても残念な気持ちになりました。長い年月いろいろな嬉しい事、楽しい事、また、大変な事もありました。在職中に通っていた小矢部園芸高校での二年間は週一の通学でしたが、還暦を過ぎて机に向かっていた授業、修学旅行等の高校生活は今までにない貴重な学びと出会いの場で、とても楽しく充実した日々でした。また若い頃からの趣味であるお茶を、細々ながらも続けられていた事もうれしく楽しい事な事のひとつです。

早く三年以前の状況に戻って欲しいと願いつつ、これからは趣味を楽しみながら家族や友達、地域の皆様と共に元気に過ごしていけたらと思っています。



卯年をむかえて



久 惠博明
(昭和26年生)

七十二歳にもなると昔は生きていない年頃なのに、今は人生百年といわれています。

私の人生どんなだったかふと顧みれば、幼少の頃はわんぱくで、遊びに没頭した毎日を過ごしていた記憶があります。

二十代になってからはこの地域に帰ってきて事業(家業)を継ぎ、結婚をし子供三人授かり、最近では珍しい四世代同居生活でした。また町内の政治、JC活動、商工会活動等地域活動にも積極的に参加し、無我夢中に邁進してきました。

今年七回目の卯年を迎えるにあたり、これまで重い病氣もせず健康でいられた事が一番の喜びであり感謝でもあります。家業に協働し、町内や地域活動にも参画し、何よりも楽しみなゴルフがこの年でも出来ること、そして先祖代々の田園の仕事にも携われる喜びに感謝しています。

これからの人生は一年一年、若者達の手本となり地域や町内活動、そして田園の仕事に励んでいきたいと思っています。

今年卯年のいわれの様に大いに飛躍いたしましょう。

コロナウイルスと共に



澤田 秀子
(昭和14年生)

昭和十四年に生を受け、長生きさせてもらって年女も八回目を迎えました。

その間、地域の皆様に支えられ、また、家族のお陰で感謝の毎日です。思い返しますと、三年程前でしょうか、よくわからないコロナウイルス感染のニュースが流れ、私たちの今までの穏やかな生活が脅かされてしまいました。形の見えないコロナウイルス感染のニュースに、楽しみにしていた地域の行事、町の行事、我が家の行事まで、変えざるを得なくなりました。

今まで、口癖のように「遊びがおいで」と言うので、家族からチエックがきて困ってしまいました。昨年の暮頃より、少しずつ終息するかに見えたコロナウイルス感染者の人数も、増えたり、減ったりと、とても悲しくなります。

今年こそ、コロナウイルス感染が終息しますようにお互いに頑張りますように。

今をかえりみて

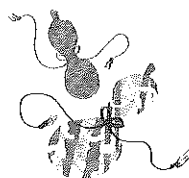


徳成 花枝
(昭和14年生)

四才の時父親と死別して、この年までどうして生きてきたか？今は十人の孫がおりそれぞれメールラインを送ってくれるのを楽しみにしています。私は小学校の時社会に役立つ人になりたいと思っていました。五十才頃いろいろな所からボランティアの声がかかりやらせてもらい現在にいたっています。ホームヘルパーも長年させてもらいました。

今は、小学校、保育園、寺子等にお茶を教えにいらっています。子供達からいろいろパワーをもらって感謝しています。家族に感謝、自然に感謝、花にも感謝して日々を送っています。

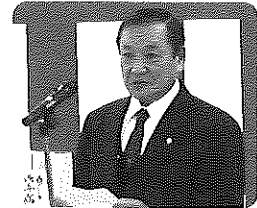
私をこの世に出してくれてありがとう！



まちづくり部会

令和五年 新年の集いを開催しました

まちづくり部会長 山本義秀



今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、前年と同様、参加者制限を行い、酒席なしの「新年の集い」になりました。田中事務局長の司会で、始めに碓井地域づくり協議会会長の挨拶、活動報告がありました。旧井波庁舎の利活用については、市議三名、各地域づくり協議会会長四名、事務局二名、市職員四名で「井波地域づくり推進協議会」を発足させ協議を継続していくことや、公共交通の在り方を進めるため、「井波モビリティ協議会」を立ち上げたこと。利賀ダムに関連する八乙女連絡道整備構想計画推進協議会を発足して八乙女トンネル構想を推進させる。などなど、地元の問題解決に向けた取り組みが紹介されました。

また、南山見交流センターが文部科学省から第七十五回優良公民館表彰を受けることが決まったとの報告もありました。これは、「公民館やその他公民館と同等の社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献しているものを表彰する」もので、全国で七十二館、富山県では朝日町山崎公民館と当センターの二館です。表彰は二月三日に行われます。

来賓の才川議員からは、人口減少問題、企業誘致、二病院の方向性、中学校の部活動の拠点校化、まちづくりビジョンの策定等について報告がありました。マーシ園の豊川施設長からは、創立六十四年目を迎え、「八乙女」の移設新築の進捗状況や引きこもり支援の取り組み報告がありました。そして安心、安全な施設づくりを目指すとのことでした。

挨拶に引き続きアトラクションが行われました。小橋外喜雄さんの吟詠で「勸学」を、前田由美子さんは「松竹梅」を力強く吟じられました。続いて、すみれ会三名で青森民謡の「謙良節」（けんりょうぶし）を、山吹の会・つくしの会の三名で「古城」を披露されました。凜とした舞で新春のひと時を堪能することができました。



健康・福祉部会

敬老の集いと米寿祝の

健康・福祉部会長 篠原正三

好天にめぐまれた十一月十三日コロナが取まらない中、同時に第八波が心配される中、昨年に続き第三十二回敬老の集いを南山見交流センター体育館において開催しました。今年も八乙女文化祭と合わせて行うことになりました。舞台発表はなく、少し寂しい文化祭でしたが、敬老の集いは盛大に開催することが出来ました。

南山見地区七十五歳以上の招待者百九十九名、その内五十名の方々が出席されました。米寿の祝いの方が十四名に、碓井地域づくり協議会長より、記念品と市からの祝い状を渡していただきました。式の後、アトラクションとして、大正琴の演奏、萌黄会、などしこ会の踊り等、短い時間ではありましたが、楽しんでいただけたかと思えます。

敬老の集いの終了後には、文化祭会場の展示物、農産物を鑑賞し購入して帰られました。米寿の欠席者十一名には、碓井会長と健康・福祉部会長が、饅頭・記念品と市からの祝い状を自宅へお届けいたしました。また、招待者の欠席者へは社協理事会の方が饅頭をお届けしました。心よりお祝い申し上げます。

最後に、準備や片付けにご尽力いただいた地域づくり協議会の理事會役員の方々や健康・福祉部会の皆様方に感謝申し上げます。お疲れ様でした。来年は、文化祭も従来通り開催されて、多くの来場者の方々に、敬老のお祝いをしていただきたいと思えます。



令和4年 米寿祝

米寿のみなさん おめでとーごさいます

- 武田 愛子 様 (院瀬見1区)
- 山田 憲治 様 (院瀬見1区)
- 田中 富治 様 (院瀬見2区)
- 松田 孝子 様 (院瀬見2区)
- 武田 秋子 様 (院瀬見3区)
- 山本 功 様 (院瀬見4区)
- 高倉 トシ 様 (志 観 寺)
- 前田喜代子 様 (谷)
- 岩崎美津子 様 (里 領)
- 横江 進 様 (川 原 崎)
- 澤田喜美江 様 (沖)
- 富嶋 清子 様 (沖)
- 境 順良 様 (南山見新)
- 廣島よし子 様 (南山見新)



第45回 八乙女文化祭 大盛況!!!

実行委員長 田中一昭



11月13日(日)、今年度で45回を数える、伝統の八乙女文化祭を開催いたしました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年度同様、ステージ発表や模擬店は行わず、規模を縮小した形で実施しました。天候が心配でしたが午前中は何とか雨も降らず、「敬老の集い」と同時に開催したこともあり、早朝から大勢の住民の皆様にご来場頂きました。

開会式では、碓井会長や才川市議から、「コロナ禍にあっても工夫して開催することにより、地域の絆を深めることが大切である」という力強いお言葉を頂きました。「米寿のお祝い」のセレモニーに続いて、南山見花びらの会の大正琴演奏や萌黄会・なでしこ会の舞踊によるアトラクションで、お祝いムードを盛り上げて頂きました。とりわけ、子ども民謡教室の児童3名による「野崎参り」の可愛い踊りに大きな拍手が送られました。

大ホールや会議室では、各種団体の活動報告や絵画、書道、写真、手芸、園芸等の多彩な作品が展示されました。また、農産物展示と即売が行われ、品評会では金賞5品が選ばれました。今年も、地区の子供たちをはじめ住民から募集した「防犯川柳」のコーナーもあり、一際目を引いていました。作品や農産物は、どれも「素晴らしい!」と目を見張るものばかりで、制作者や生産者の工夫や努力の跡が伺えました。全部で作品は57点、農産物は22点の出品がありました。出品していただいた皆様、有難うございました。

エントランス等では、老人クラブによる寿司・餅・お茶、成壮年部によるおはぎ・お茶、地区社協による交通安全マスコット・落花生・さつま芋等のテイクアウトがあり、大好評でした。また、「野菜の重さ当てクイズ」にはたくさんの応募があり、入賞者10名には豪華賞品が贈られました。



午後からは雨が降り始め、入場者はほとんどなく残念でしたが、それでも1日で約120名の来場者があり、久しぶりに南山見地区の交流の輪を広げ、大盛況となりました。これも偏に、準備から運営、片付けまでご協力いただいた理事会役員や各種団体等、多くの方々のお陰です。有難うございました。来年は、コロナ禍が収束し、ステージ発表や模擬店も実施できることを祈っています。

午後からは雨が降り始め、入場者はほとんどなく残念でしたが、それでも1日で約120名の来場者があり、久しぶりに南山見地区の交流の輪を広げ、大盛況となりました。これも偏に、準備から運営、片付けまでご協力いただいた理事会役員や各種団体等、多くの方々のお陰です。有難うございました。来年は、コロナ禍が収束し、ステージ発表や模擬店も実施できることを祈っています。

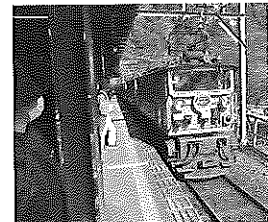
農産物品評会 金賞受賞者の皆さん

小豆	林	律子	様
里芋	川原	彦市	様
白菜	直江	稔	様
カリフラワー	銅	光枝	様
富有柿	亀田	清美	様



黒部峡谷トロッコの旅へ

南山見老人クラブ連合会 才川千明



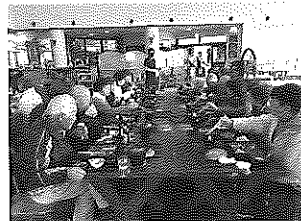
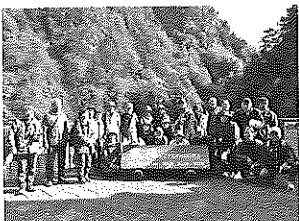
十月二十七日(木)早朝、お天気にも恵まれ高齢者学級日帰りバス研修参加者二十七名は、黒部峡谷トロッコ電車の旅へと出発しました。CMで見えるような鮮やかな紅葉風景に出会える事に心踊る思いでした。

宇奈月駅に着き窓付きの客車に乗り、途中女優室井滋さんの楽しい案内を聞きながら樺平へと向かいます。赤い新山彦橋を渡りしばらく行くと美しいエメラルドグリーンの湖面が目飛び込んで来ます。そこには湖面に浮かぶお城をイメージしたという新柳河原発電所があり、まるで一枚の絵画のようです。

トロッコは高さ六十mにある後曳橋を渡りどんどん山深くに入っていきます。見所は沢山ありますが、その素晴らしい景色に圧倒されながらも、崖ギリギリに進んでいくトロッコに先人の労苦が偲ばれる思いです。

標高五九九mの樺平は、心配した寒さも杞憂に終わり、爽やかな風に吹かれながら一時間余りの散策を楽しみ事ができました。

お昼は宇奈月麦酒館で地ビールを堪能しながらお昼を戴き、魚津埋没林博物館で自然の不思議さと凄さを感じながら帰路に着きました。紅葉には少し早かったのが残念でしたが、非日常を楽しんだ一日でした。



ふるさと探訪 「院瀬見ウォーキング」

富田利通

秋晴れのもと、子供たちを交え総勢二四名が参加した。松田博志さんの案内で、院瀬見会館を出発。まず始めに、安全祈願を兼ねて「院瀬見春日社」を参拝し、境内の大杉等を見学した。

集落西の端の急な小道を登り、市史跡の「段乗寺・横山城・馬かけ場」を通った。南北朝時代に築かれた、極めて初期の城郭形態を残すものだそう、ヒノキが立ち並び苔むした馬かけ場には、流鏑馬を終えた馬たちの息づかいが今も残っているように感じられた。

次に「干谷の宮桜(エドヒガン)」を見学。野の桜とは異なり、杉林の中、天に向かつて伸びるその姿は、近くほどに水神様が宿っておられるように見え、古くから豊作を祈って桜を守ってきた村の人々の思いが伝わってきた。

その後、山の作業路を「金比羅様」「旧南山見小学校の開墾地」「宿原の溜め池」とたどり、「丸山砦(東城寺城)跡」では、標高二七・一mの頂上をめざし、人ひとり通れる急な尾根道を登った。途中いくつもの堀切や塀堀が行く手を阻み、なかなかの山城であると感心した。残念ながら、頂上からは、周囲の木々が大きく、見渡すことができなかったが、先人たちが、瑞泉寺(井波城)や井口城を結ぶ「つなぎの城」として、戦いの際にはふもとから駆け上がり、砺波平野を遠くまで見下ろしていたかと思うと、快かった。



昼食後、砦跡内の「丸山の大杉(立山杉)」を仰ぎ見て山を下り、作業道沿いの「雁沢の地藏様」「興堂寺の不動様」を参拝して、全員無事に院瀬見会館に戻った。中身の濃い地域の史跡や自然に触れ、また、子供たちの楽しげな声に癒やされ、和気あいあいとウォーキングを楽しむことができた。ふる里のことをもっと知りたくなった、そんな一日だった。



南山見地区避難訓練

安全・防災部会長 富田豊志

去る十月二十三日(日)、避難訓練を開催しました。コロナ第8波がうごめき始めようとしていましたので、南山見防災会の隊長班長のみの招集としました。

訓練内容としては備品の確認、避難所用簡易間仕切りの組み立て、段ボールベッドの組み立てと、汚物バッキングトイレの紹介、最後にかねてから懸案事項となっていました、八乙女サロン会館のコロナ対策利用の素案作りのため、参加者全員で下見を行いました。

南砺市が貸し出す簡易間仕切りは、従来避難者が大きな空間に詰め込まれている様子がテレビ等で見られますが、薄い生地ではありますが二四方の空間に仕切られており、プライベートスペースが確保されます。総てを説明するには紙面が足りませんので写真を参考にしてください。今回参加された皆さんが、防災会のリーダーとして避難所を開設・運営していただけるようスキルアップに繋がってほしい、訓練を行った甲斐があります。

さつまいも掘りに参加してみませんか!

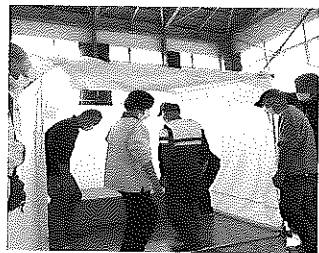
南山見地区社会福祉協議会 直江喜美代

十月十日(月)はスポーツの日で、児童たちは休みの日でした。

八乙女サロン活動に、地域の皆様、特に子供さんと一緒に何かをしたいと思い計画しました。南山見地区にじいろ保育園父母の会と南山見地区児童クラブの保護者の皆様へ、地域づくり協議会を通して呼びかけをして頂きました。当日は、あいにく朝早くから大雨になり、悪天候の為イモ掘りは中止としました。参加者数が不安でしたが、子供さんが二十名、保護者の方は十二名で思いのほか大勢の参加でうれしく思いました。八乙女サロン会館内のカルチャー室・ホール・和室で輪投げ・トスポール・オセロ・折紙などをはじめ、社会福祉協議会より借用してきた「ビンゴだ!ボードゲーム」「トントン相撲」といったゲームで遊びました。特に、子供さんたち、楽しんでいただけただけでしょうか?

帰りには玄関のバケツの中で泳いでいるめだかを育てたい方にプレゼントしました。おみやげはもちろんさつまいもと玉ねぎ。これらは八乙女サロン菜園で収穫したものです。手芸品もお渡ししたので両手いっぱいになっていました。

来年もさつまいも掘りを計画しております。子供さん、保護者の皆様のご参加をお待ちしております。



栄えある受賞

おめでとうございます！

◆富山県教育功労者表彰
学校教育功労者

富田 利通氏

長年にわたり、学校教育の発展に寄与され、特に校長として、児童生徒の安心・安全な教育環境の充実に尽力された功績により受賞されました。



◆南砺市社会福祉協議会表彰
ボランティア活動個人

富田百合子氏

双葉グループに所属し、マーシ園での清掃活動や八乙女サロンでの喫茶活動、道路のゴミ拾い等のボランティア活動が評価され受賞されました。



チューリップ球根植えと文化祭作品作り

児童クラブ会長 前川 茂樹

児童クラブでは11月6日(日)にチューリップの球根植えと文化祭に展示する作品作りを行いました。まず、花と緑の銀行グリーンキーパーの方々にご指導頂きながら交流センター前のプランターに7種類の球根をそれぞれ10個ずつ植えました。作業に慣れた上級生も初めて参加する1年生も、みんな手際よく丁寧に植えていました。来春、暖かくなる頃には色とりどりのチューリップがきれいに咲くことを期待しています。

球根植えの後は文化祭に展示する作品作りとして、オリジナル写真立て作り挑戦しました。皆で持ち寄ったピーズやシール、松ぼっくり、どんぐりなどをフレームに貼り付けたり絵を描いたり楽しみながら作業に取り組み、児童それぞれ個性あふれる写真立てが仕上がりました。



色とりどりのチューリップが咲き誇ることでしよう

花と緑の銀行
頭取 田中一昭



昨年6月に、児童クラブの子供たちと一緒に、交流センター前庭のプランターに植えた、ペゴニアやマリーゴールド・日々草は、晩秋になってもきれいな花を咲かせていました。しかし、チューリップの球根を植える時期になったので、残念ながら、11月4日(金)に花と緑の銀行の頭取とグリーンキーパーで、花の抜き取りと床土の整備作業を行い、球根植えの準備をしました。

11月6日(日)は、天候にも恵まれ、児童クラブの子供たちと一緒に、7種類の球根をプランターに10個ずつきれいに並べて植えました。「とがっているところを上にする」「球根2個分程深く植えて球根が見えないようにすること」「土をしっかりと押さえること」の3点に気を付けて植えるように教えました。子供たちはシャベルや手できばきと作業をし、20分程で終了しました。

雪が解け、春には色とりどりのチューリップの花が咲き誇ることでしよう。今から楽しみです。



令和4年度 カギかけ防犯キャンペーン

南山見地区防犯組合長 堀 雅幸

南山見地区防犯組合では、11月13日(日)八乙女文化祭の防犯ブースにて「カギかけ防犯キャンペーン」の展示を行いました。

今年はカギかけと特殊詐欺撲滅をテーマに「防犯川柳」を募集し、応募の中から人気投票を行いました。

今年の南砺署管内での特殊詐欺事件の件数は県内でも上位にあり、「架空請求」や「還付金詐欺」が増加傾向となっています。不審な電話はその場では対応せず、家族や警察に相談してください。



歳末見舞い

南山見地区社会福祉協議会 前川幸雄

地区社協では、昨年12月3日、一人暮らしの75歳以上の方と80歳以上の高齢者の方々、125名に歳末見舞い訪問を行いました。

昨年は、コロナが収まると思いきや、第8波の来る勢いで感染者がまた増え、それに加えて、次々と物の値段が上がり、さぞお困りになった年ではなかったでしょうか。

このようなコロナ禍のなかで、皆様方が歳末を明るくお元気で過ごされるよう、昨年も地元の業者さんに依頼し赤飯を作ってもらいました。そして、おいしくできた赤飯とティッシュ、カイロ、励ましのお手紙を社協地区役員、福祉推進員が、お元気で過ごされるように励ましの言葉を交わし、お届けさせていただきました。どの方にも明るく笑顔で対応していただき、元氣な姿に安心しました。

ご協力くださいました皆様へ感謝するとともに、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

二十歳をお迎えの皆さんおめでとうございます。

一月八日(日)、井波総合文化センターにおいて、青空の下「南砺市二十歳の集い」が行われました。昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しての開催となりました。

南山見地区からは、五名の新成人が出席し、旧友との再会を喜び合い、大人の自覚と社会人としての心構えを新たにしていきました。

式典では、田中南砺市長のあいさつの後、新成人代表への記念品目録の受領や謝辞の朗読に続き、実行委員メンバーが編集した、学生時代の「思い出のスライド」の上映で会場は盛り上がりました。

小学校、中学校時代の恩師が当時の懐かしい話を取り上げあいさつされました。

皆さんには、若さと希望に満ちあふれた情熱で未来に向かって歩まれることを願っております。

(事務局)

はたちの抱負



亀田侑佳

先日、私は「二十歳の集い」に出席しました。これまで二十年間自分を支えてくれた多くの方へ感謝し、その気持ちを忘れず、少しずつでも恩返しができるように思います。

私は、現在、大学でスポーツ教育について学んでいます。スポーツの起源は「あそび」から始まったと言われているように、体を動かすことは、面白い、楽しいといふことが本質だと改めて感じています。

そういった魅力を子どもたちにわかりやすく伝えること、スポーツで笑顔になる子どもたちを増やすことを目標にしています。

今になって、小中高時代にバスケットボールの楽しさを教えてくれたコーチ、真剣に取り組める環境を作ってくれた先生の偉大さ、そして好きなことにまっすぐ打ち込める事がどれだけ幸せなことだったのかと感じています。

今後は、支えられる側から支える側になったことを自覚し、将来は、大好きな地元や子どもたちにもスポーツをつなぐ仕事をしたいと考えています。

行事予定

2月12日(日)
第34回 南山見地区「三世代交流の集い」 **中止**

2月16日(木) 午後7時より
「八乙女講座」SDGsってなに?~私ができるSDGsへの取り組み~
講師 南砺市エコビレッジ推進課 課長 亀田 秀一 氏
(終了後、新区長・新町内会長会議)

南山見人口

令和4年12月31日現在
()は昨年度 住民基本台帳より
人口は、マージンの51名を含みます。

男	453名 (453名)
女	482名 (482名)
計	935名 (935名)
世帯数	265戸 (266戸)

新任民生委員



小橋 芳江

12月から民生委員をさせていただくことになりました。人と人とのつながりを大事にしながら、活動をしていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。

吉田 友治

令和4年12月より、地区民生委員をさせて頂いております吉田です。他3名の方々と一緒に、協力して地区のために、働かせて頂きます。これからよろしくお願いします。

退任民生委員

亀田 清美

経験・力不足の私が民生委員という大役を仰せつかり、二期を務めさせて頂きました。在任中は多くの方々のご指導、ご助言を頂き感謝にたえません。本当にありがとうございました。

田中 照美

民生委員児童委員として、三年間の任期を終え、気が付いたことがあります。南山見のみなさんは、『自助・互助・共助』の意識が大変高いと。

たくさん助けてもらい、たくさん教えてもらいました。ありがとうございました。

編集後記

十二月より民生委員の方が二人変わりました。ケアネット活動についてチームリーダーとして、地域で何らかの助けを必要とする人や世帯に対して、地域の方の助け合い活動を通して、誰もが地域の中で孤立することなく、安心して生活できる福祉のまちづくりを目的として支援活動を行っていただいています。健康・福祉部会や地域福祉推進員と協力し情報共有することで、誰も一人ぼっちにしない地域にすべきであると考えます。

市内では、今年百歳以上の方は六十六名おられるそうです。ふれあいネットワーク、月曜サロンを活用して健康に留意され運動することで皆さん長生きしましょう。

この度も会報八乙女一三五号をご愛読いただきありがとうございます。

(編集委員長)